



名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

NO 922



＜本年度クラブ会長方針＞

LEAD THE WAY - 率先しよう

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 神田 憲 URL <http://www.nagoya-osu.org> Email office@nagoya-osu.org
 幹事 内藤 明 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337
 事務局 460-0008 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸腰ビル 6F

2006～2007 年度

R.I.会長

ウィリアム B. ボイド

第1074
回例会

於 名古屋東急ホテル
平成18年7月27日(木)

出席者 68名
 出席計算数 64名 50名出席
 出席率 78・13%
 前々回出席率 96・88%

ロータリーソング

「大須ロータリーのソング」

指揮者 照井 栞
 プレオ伴奏 電板 玲子

ゲスト

青少年交換学生

母下 朋香さん
 母下 玲子さん

リクター

尾張中央R.C 安藤 鉄吾さん
 名古屋R.C 中北 智久さん
 名古屋北R.C 徐 堅さん
 名古屋みなとR.C 深谷 友尋さん

スピーチ

神田会長の就任おめでとうスピーチです。

深谷 友尋さん(名古屋みなとR.C)今日はロンドンR.Cの風景をお話の話をさせていただきます。深谷さん(名古屋みなとR.C)おめでとうございます。母下朋香さん

ん、1年間インジニョーントです。

神田 憲

日比野さん、大飼さん、卓話楽しみになっています。母下さん、頑張ってください。内藤 明

娘が1年お世話になります。感謝です。母下 信義

9年前、心配かけました娘が男の子を出産しました。当時を思うと夢のようです。小澤 幸男

大飼さん、日比野さん卓話楽しみにしています。草野 勝彦

卓話をします。木村 光徳、高木 正義

書くなりました。誕生日です。犬飼 芳雄

妻の誕生日です。小笠原俊和

書くなりました。書くに負けずがんばります。渡辺 剛男

前田 隆久

会長挨拶

『ロンドンR.Cを訪ねて』



神田 憲

1995年11月take-upしました。メンバーは約150人、開催日時は月曜日の12時30分スタートで14時終了です。

例会場は Radisson SAS Portman

Hotelで、ロンドン市内のハイパ

ーク北角に speaker's corner があり、そこから3ブロック(約5分ほど北に上がった所)にあります。

致仕 All Rotarians and their partners are welcome と表示され、窓のある明るく部屋が静かな道に面して雰囲気がとても良かったです。食事は美味しかったです。量が多くその上デザートもケーキアイスクリームなども半端な大きさではなく、とても食べ切れませんでした。

例会は英国国家「God save the Queen」が唄がらうります。

このクラブもやはり会長がすべて行事の進行を務めていました。

日本から来たと言いましたが、別のテーブルからお一人が我々の隣の席に移動してられました。以前東京電力の監査役をされていた英国の方で、片言の日本語を話され、家内と一緒に出席しましたので大変助かりました。心遣いが嬉しかったです。

また周りの方も紳士でかつ大変フレンドリーで John Bull、そのものでした。

ウインストン・チャーチル/マーガレット・サッチャー元英国首相もこのR.Cのメンバーであったと聞いてきました。ロータリー100年史にこのお二人は、100人の有名なロータリアンとして記載されています。

また The London Rotarian というこのR.Cの雑誌は、1916年に世界で初めて発行されたロータリーでの最も古い公式雑誌です。

因みに、このロンドンR.Cの歴史は95年であり、1905年にシカゴR.Cが創設され、2番目は1908年にサンフランシスコR.C、アメリカ以外では1910年にカナダのウィニペグR.C、北米大陸以外では1911年にこのロンドンR.Cが初めて創設され、世界の50番目のR.Cとなりました。

グレーターロンドンと呼ばれるこの1130地区には現在80のR.Cがあります。

サンクス・ア・ロット

青少年交換学生挨拶

この厚意を無駄にしないように

ありがとうございます。

また The London Rotarian というこのR.Cの雑誌は、1916年に世界で初めて発行されたロータリーでの最も古い公式雑誌です。

因みに、このロンドンR.Cの歴史は95年であり、1905年にシカゴR.Cが創設され、2番目は1908年にサンフランシスコR.C、アメリカ以外では1910年にカナダのウィニペグR.C、北米大陸以外では1911年にこのロンドンR.Cが初めて創設され、世界の50番目のR.Cとなりました。

グレーターロンドンと呼ばれるこの1130地区には現在80のR.Cがあります。

サンクス・ア・ロット

ありがとうございます。

また The London Rotarian というこのR.Cの雑誌は、1916年に世界で初めて発行されたロータリーでの最も古い公式雑誌です。

因みに、このロンドンR.Cの歴史は95年であり、1905年にシカゴR.Cが創設され、2番目は1908年にサンフランシスコR.C、アメリカ以外では1910年にカナダのウィニペグR.C、北米大陸以外では1911年にこのロンドンR.Cが初めて創設され、世界の50番目のR.Cとなりました。

グレーターロンドンと呼ばれるこの1130地区には現在80のR.Cがあります。

サンクス・ア・ロット

青少年交換学生挨拶

この厚意を無駄にしないように

ありがとうございます。

また The London Rotarian というこのR.Cの雑誌は、1916年に世界で初めて発行されたロータリーでの最も古い公式雑誌です。

因みに、このロンドンR.Cの歴史は95年であり、1905年にシカゴR.Cが創設され、2番目は1908年にサンフランシスコR.C、アメリカ以外では1910年にカナダのウィニペグR.C、北米大陸以外では1911年にこのロンドンR.Cが初めて創設され、世界の50番目のR.Cとなりました。

グレーターロンドンと呼ばれるこの1130地区には現在80のR.Cがあります。

サンクス・ア・ロット

青少年交換学生挨拶

この厚意を無駄にしないように

ありがとうございます。

また The London Rotarian というこのR.Cの雑誌は、1916年に世界で初めて発行されたロータリーでの最も古い公式雑誌です。

因みに、このロンドンR.Cの歴史は95年であり、1905年にシカゴR.Cが創設され、2番目は1908年にサンフランシスコR.C、アメリカ以外では1910年にカナダのウィニペグR.C、北米大陸以外では1911年にこのロンドンR.Cが初めて創設され、世界の50番目のR.Cとなりました。

グレーターロンドンと呼ばれるこの1130地区には現在80のR.Cがあります。

サンクス・ア・ロット

1年間で日本の素晴らしい文化を伝えてフィンランドの文化を学んでヘルシンキに帰ってきたいと思えます!!

本当にありがとうございました。頑張っています!!

会費卓話

「リスクとリターンって何？」

日比野芳丈
本日はリスク・リターンって、なにと題しまして「リスクとリターンを正しく知る」についてお話をさせていただきます。

日本では、株式は「危険」なものと、大抵の人が思っています。「銀行預金に手を出すな」という人はいませんが、「株に手を出すな」という人は結構お見えになります。株式投資に失敗した人の方が成功した人よりもはるかに多いように感じます。日本の株式市場は奇跡の復興と呼ばれた高度成長を40年以上も享受してきましたが、その果実は株式に投資しているすべての参加者が平等に分配されていると考えられます。ちなみに日経平均は東証再開初日(1949年5月16日)の176円から最高値(1989年12月30日)の38915円と大幅に上昇しています。やはり儲かっているはずなのに儲かっていない。だから危険だと言われているのですかね。

それはさうおき、本質的な意味における株式「危険」という日本人の平均的認識は間違っています。正確には「株式は危険も高いが見返りも高い」が正しい。一方、預貯金が安全だという表現は厳密に言うところ「危険は少ないが見返りも少ない」が正しいと思います。

またリスクの反対語はリターンだとみな勘違いしています。一般的にリターンと言うとプラスリターン、すなわち益のことだと思われていますが、本誌には損の概念もリターンにはあります。損はマイナスリターンなのです。ところがリスクとリターンを並べて考えるところほとんどの人の理解が「益=リターン・損=リスク」と無意識に理解しております。これは大きな間違い。損も益も結果はすべて、リターンである。これが正しい。

ではリスクとは何か。もちろんリスクは損ではありません。リスクとは「リターンのバラつき量」なんです。



犬飼さんと日比野さん
卓話お疲れ様でした!

「戦争について」

犬飼 芳雄

私は戦争体験者です。戦争は死ぬという事です。

私は昭和18年4月に召集令状を受け、浜松の高射砲隊に入隊しました。その後南の島ペリリュー島に送られました。初めは南国の島の食べ物、海の美しさに恵まれたと思いましたが、ペリリュー島の近くにガドブス島があり、そこには飛行場があったため激しい戦争となりました。私のいたガドブス島と本隊のあるペリリュー島の間には橋があり、何かと連絡に行きました。ある日アメリカの弾丸が落ちて私は橋と共に海に落ちましたが、幸い杭にひっかかり流されずにペリリュー島に着きました。

その夜ガドブス島の戦友は全員玉砕しました。私は一人ペリリュー島の本隊と一緒に洞窟から洞窟への戦いの毎日でした。切込み隊として4回行きましたが無事に隊に帰ることができました。ペリリュー島の玉砕の暗号は「桜」でした。しかし玉砕ではなく死守命令でしたので生きています。最後まで戦いました。

しかし制空権、制海権ともに敵に抑えられ全員捕虜になりました。アメリカに連れて行かれ日本が負けたことを知らされました。色々ありましたが、昭和21年12月8日横須賀の軍港へ着きました。戦争体験者として2度と戦争は

してはいけない、戦争は人殺しです。



職業奉仕だより

職業奉仕委員長 近藤 宏一郎

『ロータリー創立(2)』
1906年、シカゴRCCの2代目会長のアルバート・ホワイトの時に、会員が弁理士ドナルド・カーターの所へ赴き、RCCの相互扶助の原則などを話し、「みんな楽しくやっているから入らないか」と勧誘に行きました。

カーターは話を聞いて「確かに君達は楽しいだろう。君達は豊かになつただろう。けれどRCCに入れない人はどうなるのか。職業を持たない人はどうなるんだ。この地域社会に生を受けて、地域社会で生活しているから、恩になった地域社会に何ら足跡も残さない。これは、まさにエゴイズムの団体じゃないか」といつて、きつぱりと入会を断つたのです。この報告を聞いて、ポール・ハリスは反省し、「カーターのいうとおりだ、クラブのいき方を変えよう」ということで、それから世の為人の為のことも考えるクラブに変わっていきます。ポール・ハリスは直

ちにシカゴクラブの定款を改定し、1906年中に綱領の中に次の項を加えます。「第3条 シカゴ市の利益を増進し、その市民の中に市に對する誇りと忠誠を普及せむこと」。

創立2年にして、ロータリー早くも凜然としてではあるが、社会目的を白覚するようになったのです。参考として、1906年1月時点では第1条会員の業務上の利益を振興すること。第2条 性質として社交クラブに伴う親睦、その他望ましい諸点を振興すること。となつていた。第3条を知って、カーターは喜んで入会し、初期のロータリーの伝統形成に大きな役割を果たしたのです。ここで「社会及び人の為」という利他の心が僅かながら導入されることになったのです。

8月24日(木)例会の御案内

卓話「もの」の原典

からくり人形を学ぶ
尾陽不佛師 九代目
玉屋 庄兵衛さん

*8月14~17日
事務局夏季休暇



プリンテン委員会

山口 正孝 神野 邦利 大原 敏正